

NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

ニューズレター issue 43



都市災害に備える技術者の会事務局：〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台3-1（太田ジオリサーチ内）
TEL:078-907-3120 FAX: 078-907-3123 e-mail: office@toshisaigai.net http://www.toshisaigai.net

年 頭 所 感

理事長 伊藤東洋雄



新年おめでとうございます。

皆様におかれましてはご家族共々よいお年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は当 NPO 法人都市災害に備える技術者の会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本来の日常業務多忙の中、時間を割いて参加・活動して戴いていることに対し心より敬意を表します。

さて、この1年を振り返ってみますと、4月14日16日には二度にわたって震度7に見舞われるという前代未聞の大地震が熊本地方を襲いました。また、10月21日には鳥取県中部地震が起り、日本列島がいよいよ活動期に入ったかと実感するところであります。

近々発生が予想されている南海トラフ巨大地震は、待ったなしの状態であり、我々の活動に於いてもこれまで以上に一層取り組みを加速させなければならないと感じております。

幸い昨年は新たに5人の会員が加わり心強い

限りであります。

そこで、これまで活動の中心であった学校や地域の自主防災会、また自治体職員向けの防災・減災の出前授業や防災講演会を更に拡大すると共に、災害発生後の復興支援への積極的な参画や自治体職員間の連携・ネットワークづくりの具体化、現行法制度の改善への取り組み、さらには他の NPO との連携などについて一層活動を深め、社会への貢献を形あるものにしていきたいと考えています。

会員の皆様におかれましては今年も本会へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、併せて今年も皆様の益々のご発展を祈念致しましてご挨拶と致します。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

〈新入会員自己紹介〉

福岡 悟(ふくおか さとる) 会員

昨年の7月入会させていただきました。

福岡 悟と申します。

☆名前：福岡 悟

(ふくおか さとる)

☆生年月日：

昭和14年9月(77歳)

☆所属：福岡技術士事務所、(公社)日本技術士会近畿本部、同兵庫県支部会員

☆前所属：阪神高速道路公団、(財)阪神高速道路管理技術センター、(株)ハイウェイ技研



☆趣味：園芸(チューリップ)、切手収集

☆家族：妻と二人暮らし

☆住所：兵庫県川西市

☆出身：岐阜県羽島市

☆自己紹介：

この度日本技術士会近畿本部長を退任しまして時間的な余裕ができました。本会の活躍は何時も拝見しておりましたので、改めて本会に入会させて頂きました。

私は阪神高速道路公団(現阪神高速道路(株))において、計画、設計、工務、建設、維持管理部門と合計31年間勤務しました。公団を退職し、阪神高速道路管理技術センターで理事として、技術部門のまとめ役をしておりました。

この時、阪神淡路大震災が発生し、私の元勤務していた阪神高速道路が大きな被害を受けました。私は大阪地区勤務が多く神戸地区の被災箇所には直接は関係していなかったのですが、地震被害が神戸線のみならず、湾岸線の橋梁にも及んでいるとのラジオニュースを聞いた時にはとても信じられず、直ちに自宅からバイクで現地を見に行き、その被害の大きさに高速道路の設計、建設にたずさわっていたものとして、大変なショックを受け、特に設計技術者としての自信喪失をし、何とか立直るのに多大の日時を要したことを今でも覚えております。

けれども休む暇なく、高速道路の地震被害からの復旧・復興のための後方支援部隊として、無我夢中で働きました。この時ほど本当に良く働いたという実感は、前にも後にもありません。

その後コンサルタント会社では阪神高速道路の復旧のための関係業務や、今後の地震に備えての大阪地区のRC橋脚の耐震補強設計の業務を中心に、大和川線の、京都線など工事前の業務にたずさわってきました。

一方日本技術士会近畿支部幹事を長くやっておりました関係か、近畿本部副支部長、やがて支部長(機構改革で本部長)に押され、計8年間勤めさせていただき、一昨年本部長を退任し、現在は特別顧問をしております。

日本技術士会では、防災に関しましては、統

括本部防災支援委員会委員、近畿本部防災研究会会長、などを務めさせていただきました。

この間、平成16年台風23号近畿災害現地調査団団長、平成23年台風12号紀伊半島災害現地調査団団長として現地調査結果の報告及び提言をしました。又今でも防災研究会の一員として、また個人として各地で防災講演をしております。

☆抱負：

抱負というほどのことではありませんが、阪神淡路大震災において自らが直接建設に携わった構造物が地震により大被害を受けたことを経験したものとして、次の三つを防災講座等ではいつもお話しさせて頂いております。

1. 忘れたころにやって来るといわれている大震災などの自然災害に対して防災・減災のため技術者の持つ専門的技術を活用し、社会に貢献すること。
 2. 大地震などの自然災害においても使用不能となるような損傷を生じない、丈夫で安全かつ安心して利用できる構造物を作ること、またそのための技術の取得と向上に努めること。
 3. 災害の復旧や二次災害の防止等において、有効な支援活動ができること、そのため、自身の力を発揮するのは勿論、多くの専門分野の技術力を結集できるよう日ごろから訓練しておくこと。
- 以上です。どうぞよろしくお願いします。

〈新入会員自己紹介〉

岡 憲司 (おか けんじ) 会員

このたび、「都市災害に備える技術者の会」に入会させていただきました。岡と申します。

- ・職業：奈良県庁県土マネジメント部河川課(河川計画・河川環境・水防担当)
- ・年齢：昭和40年生まれの51歳



- ・出身：大阪生まれ、京都府立大学卒業、現在奈良市在住
- ・職種：土木技師で、昭和63年に奈良県に採用されて以来、土木事務所3回、県庁の都市計画課、道路建設課、企画管理室、農林部耕地課、河川課3回目で、河川関係以外は、広く浅く多様な業務を渡り歩いてきております。

入会のきっかけは、河川課も3回目となりまして、最近、大きな水害がたびたび発生し、世間でも話題となって、業務も多忙になりつつあります。

奈良県は、比較的災害は少ない地域でありましたが、平成23年9月に「紀伊半島大水害」が発生し、随分と大変なこととなり、国土交通省始めとする国の機関や、関西を中心とする府県等の方々に大変お世話になりました。東日本大震災があった年にも関わらず、温かい支援をいただきました。土木の技術者も年々減少する中、何か技術経験のある人たちのつながりや、知識・知恵を少しでも次世代に残し、役立てることが大事だと思います。

そんななか、防災講演会の案内をいただきまして、講師の先生が、京都大学の多々納教授と「関西広域連合の琵琶湖・淀川流域委員会」でお世話になっている先生でしたので、参加させていただきました。

講演会後のミーティングでも、皆様の熱い思いを感じるとともに、何の資格もない私ですが、お誘いをいただきましたのでありがたく入会することになりました。

これまで、仕事では、学識経験者の方々、国や府県、市町村の技術者の方、地元役員、地域住民の方々、

建設業界の方々などと、いろんな人たちと話をさせていただいてきましたが、より多くの経験者の方々のお話をお聞きしたいと考えております。

また、最近は、若い土木技術者志望の人が大変少なくなっているように感じており、この世界の良さを伝えることもできればと考え、このNPO法人で学びたいと思いますので、今後とも、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

＜書籍紹介＞

『土砂災害と防災教育』朝倉書店

2016年2月19日に朝倉書店から出版された書籍です。現在第2版となっています。

土砂災害に関連した防災教育に関してこの分野の専門家がそれぞれの視点で書いています。当NPOの太田英将会員は、「被災後に住民にふりかかる負担と補償」というタイトルで執筆しています。被災後に経済負担がどうなるのかを知ることによって、防災の動機づけを持ってもらう目的です。

いわゆる災害弱者（生活再建困難者）は、一般に思われているような老人や子供ではなく、40代・家持ち・子持ち世代だということなどを紹介しています。



事務局だより

- ◆ニューズレターのバックナンバーは、ホームページ (http://toshisaigai.net/newsletter/newsletter_index.html) にアップロードしています。
- ◆ワーキンググループ活動の例会の案内は、ホームページにも掲載しますので、ご興味のある方は参加してください。
- ◆あらためてご案内いたしますが、振替用紙が届きましたら2015年度会費の納入をよろしくお願いいたします。（正会員5000円です）
郵便局 00990-1-162816 加入者名 都市災害に備える技術者の会
三井住友銀行 藤原台支店 普通預金 7566003 特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会
(2年間連続で未納の場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。)
- ◆住所変更・メールアドレス変更等はできるだけ早く事務局にお知らせください。
書式等は、ホームページ <http://toshisaigai.net/join/join.htm> にあります。
- ◆メーリングリストが届かない方は、事務局までお知らせください。またメーリングリスト不要の方は、毎月初めに届くメーリングリスト備忘録に従って登録を外してください。
- ◆研修会講師の心当たり、あるいは研修内容の希望がありましたら、事務局 (office@toshisaigai.net) までお知らせください。
- ◆ニューズレターの原稿を随時募集いたします。お気軽に事務局までお送りください。